

令和3年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

# 世 界 史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

## 注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の世界史探究の「2 内容」の大項目「D 諸地域の結合・変容」から一部抜粋したものである。後の問いに答えなさい。

(2) 世界市場の形成と諸地域の結合

ア 次のような知識を身に付けること。

(イ) 国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

問 上の文章に留意した上で、「覇権国家イギリスの形成とアジア諸国の変容」という主題を設定し、後の資料A、資料Bを活用した授業を構想したい。（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）

- (1) あなたであれば、この主題に即して、授業の導入においてどのような問いを提示するか、記述せよ。
- (2) 資料A、資料Bを活用して学習活動を行うに当たり、あなたであればどのような目標を設定するか。上記「高等学校学習指導要領」中の二重線に即して2つ記述せよ。（文末は、1つは「～について理解する。」、もう1つは「～について考察し、表現する。」とすること。）

資料A

(歴史学研究会編「世界史史料9」岩波書店)

資料B

(田中彰著「岩倉使節団『米欧回覧実記』」岩波書店)

2 次の文章A、Bを読み、文中の空欄（a）～（j）に適切な語句を入れなさい。また、後の（1）～（8）の問いに答えなさい。

A モンゴル高原で勢力をのぼしたテムジンは、1206年、有力者を中心に一般の騎馬遊牧民も集まる大集会でハンに選ばれてチンギス＝ハンと称し、モンゴル系・トルコ系の諸部族を統一した。その後、チンギス＝ハンが騎馬軍を率いて支配を広げる中で、西トルキスタンからイラン高原で急速に勢力をのぼしていた（a）朝を瓦解させた。

チンギス＝ハンの死後即位したオゴタイは、1234年に金を滅ぼし華北を領有するとともに、モンゴル高原の（b）に都を建設した。ついで甥の（c）に命じて西北ユーラシアに遠征させ、（c）の西征軍は東ヨーロッパまでいたった。一方、①西アジアではフラグが遠征を行い、今日のイランを中心に地方的政権を建てた。モンゴルの支配は、13世紀半ばまでに、東は中国北部から西はロシア・イランにいたる広大な領域に広がった（モンゴル帝国）。

相続争いを経て即位した第5代の②フビライは、自分の勢力の強い東方に支配の重心を移し、（d）（現北京）に都を定め、国名を中国風に元と称した。モンゴル時代には、中国もモンゴル帝国の広域的な交易網のなかに組み込まれ、長距離商業が活発となった。さらにモンゴル語で（e）と呼ばれる駅伝制が施行される中で③人の往来も盛んになるなど、④東西交流も活発化した。貨幣としては、銅銭・金・銀が用いられていたが、やがて（f）が政府から発行された。この紙幣は多額の取引や輸送に便利であったため、元の主要な通貨となった。

- (1) 下線部①について、フラグ軍が滅ぼしたイスラーム王朝に触れながら、具体的に説明せよ。
- (2) 下線部②について、フビライの対外政策について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 西域都護の班超を、ローマ教皇へ派遣した。
- イ 朝鮮半島を支配していた高麗を属国とした。
- ウ ジャワ島を中心に栄えていた扶南が元への朝貢を拒否したため、遠征を行った。
- エ 西トルキスタンを統一し勢力を強めていたティムール朝に遠征を行った。
- (3) 下線部③について、ローマ教皇インノケンティウス4世によって派遣されたイタリア出身の修道士の名前を書け。
- (4) 下線部④について、次の資料1は「モンゴル時代の文化面での東西交流」について作成した板書例の一部である。生徒の理解を支援するため、、にふさわしい内容をそれぞれ書け。

資料1（板書例）《モンゴル時代の文化面での東西交流》

- 西方へ影響を与えた中国文化圏の技術・学術
  - ・ 火薬、羅針盤、印刷術などがイスラーム世界へ伝播
  - ・ 中国画の技法、イスラーム諸国に伝播→
- イスラーム諸国から東方にもたらされた技術・学術
  - ・ イスラーム世界で使われていたコバルト顔料が中国にもたらされ、染付磁器の生産が活発化
  - ・ （イスラームの天文学の影響）

B 14世紀に入ると、モンゴル支配下の各地では、内紛により政権が動揺した。元の下では、白蓮教徒が起こした（g）の乱が拡大し、乱の指導者の一人であった朱元璋（洪武帝）が1368年に金陵（現南京）を都として明を建てたため、元はモンゴル高原に退いた（北元）。

洪武帝は自分の息子たちを王として北方の辺境に配置し、対モンゴル防衛にあたらせた。北京に本拠をおいた燕王は、洪武帝死後に位を継いだ（h）が諸王勢力の削減をはかると、⑤これに  
対抗して挙兵し、南京を占領して帝位についた（永楽帝）。永楽帝は、積極的な対外政策をとり、北方ではみずから軍を率いてモンゴル高原に遠征した。北方のモンゴル諸部族は明との交易を求  
めていたが、朝貢制度による回数や規模の制限を不満としてしばしば中国に侵入した。⑥15世紀  
半ばにはモンゴル系の部族が明軍を破ったことを契機に、明は次第にモンゴル諸部族に対して守  
勢に転じるようになり、16世紀になってもモンゴルの明への侵入は続いた。

17世紀になると、後金（アイシン）を建てたヌルハチは女真諸部族を従え、明に対抗した。第  
2代の（i）（太宗）は内モンゴルに進出し、チャハル部を従え、皇帝と称し国号を清と改めた。  
外モンゴル（ハルハ）はチンギス家の王家が引き続き支配していたが、清第4代の康熙帝は自ら  
遠征して外モンゴルを従えた。清は、モンゴルなどの地域を⑦藩部として各地の王侯に自治権を  
認め、北京におかれた（j）の統轄下に置いた。清朝は藩部の習慣や宗教についてはほとんど干  
渉せず、とくにチベット仏教は手厚く保護して、モンゴル人やチベット人の支持を得ようとした。  
その後、1911年に起こった辛亥革命に際し、外モンゴルが清から独立宣言した後、⑧モンゴルは数  
度にわたる政治体制の変遷を経て、現在に至っている。

(5) 下線部⑤について、この事件は何と呼ばれるか、書け。

(6) 下線部⑥について、因果関係に留意しつつ、次の語句を全て用いて説明せよ。なお、語句を使用  
した箇所には下線を付すこと。

正統帝	長城	アルタン=ハン
-----	----	---------

(7) 下線部⑦について、清が藩部として間接統治を認めた地域として、誤っているものを、次のア  
～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 青海                      イ チベット                      ウ 新疆                      エ 台湾

(8) 下線部⑧について、次の資料2、資料3を踏まえて、当時の近隣国家の政治体制に留意しながら、  
説明せよ。（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）

資料2 モンゴル人民共和国憲法（1924年11月26日）

（歴史学研究会編「世界史史料10」岩波書店）

資料3 モンゴル国憲法（1992年2月12日発効）

（歴史学研究会編「世界史史料12」岩波書店）

- 3 次の文章A、Bを読み、文中の空欄（a）～（h）に入る適切な語句を以下の語群ア～ツよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、後の（1）～（6）の問いに答えなさい。

語群

ア：東遊	イ：ムハンマド=アリー	ウ：ホメイニ	エ：バーブ教徒
オ：タキン	カ：イブン=サウード	キ：スエズ	ク：イブン=シーナー
ケ：フサイン	コ：サイクス=ピコ	サ：アフガーニー	シ：パナマ
ス：ウラービー	セ：石井=ランシング	ソ：タバコ=ボイコット	タ：ワフド
チ：ミドハト	ツ：タンジマート		

A ①19世紀以降のヨーロッパ列強の進出とオスマン帝国領土の分割をめぐる覇権争いの激化は、西アジア諸国の民衆に民族の自覚をうながし、イスラーム教徒としての連帯の必要性を痛感させた。各地で民族主義とパン=イスラーム主義を説いた（a）の思想は、イスラーム世界の民族運動に大きな影響を与えた。

エジプトでは、この思想の影響を受け、軍人（b）を中心とした外国支配に対する反対運動が展開された。立憲制の確立を求め、「エジプト人のためのエジプト」をスローガンとしたこの運動は、その後のエジプト民族運動の原点となった。

オスマン帝国では、アブデュルハミト2世が（c）憲法を停止し、パン=イスラーム主義を利用して体制の維持を図った。これに対して憲法停止に不満をいだく青年知識人・将校は、スルタンの専制政治に反対する「統一と進歩団」を結成した。彼らは1908年政府にせまり憲法を復活させ、政権をにぎった（青年トルコ革命）。新政権は帝国内のトルコ人の団結を求めたが、帝国内の非トルコ系民族の反発を招き、それを利用した列強の干渉が強まった。なかでも②オーストリアは、19世紀にオスマン帝国から行政権を得ていた地に侵略を強めたが、オーストリアの侵略は、この地の併合をねらっていた国との対立を深めた。

カージャール朝治下のイランでは、19世紀末から（a）の呼びかけにこたえ、（d）運動が展開された。この運動によってイラン人の民族意識が高まり、やがて③1906年にはイラン最初の国民議会が開かれ、フランス人権宣言の影響を受けた憲法が公布された。

- (1) 下線部①について、19世紀における情勢について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 第三共和政下のフランスでは、元陸相ドレフュスが、右翼・保守勢力に支持されて政権奪取をねらった。

イ アフリカ縦断政策を進めるイギリスは、アフリカ横断政策を進めるフランスと衝突し、モロッコ事件が起こった。

ウ ブラジルは、サン=マルティンを指導者としてポルトガルからの独立を果たした。

エ オランダは、ジャワ島においてコーヒー、サトウキビ、藍などの商品作物を中心に強制栽培制度を導入し、莫大な利益を上げた。

- (2) 下線部②について、次の語句を全て用いて具体的に説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

ベルリン条約	スラヴ人
--------	------

- (3) 下線部③について、この革命の名称を答えよ。

B 第一次世界大戦中、中東では、イギリスが主導して、イギリス・フランス・ロシア3国の間でオスマン帝国領土を分割することを約束した（e）協定が結ばれ、それぞれの勢力範囲が定められた。一方、④イギリスは戦争遂行のためにアラブ人とユダヤ人双方の協力を得ようとして、互いに矛盾する約束を交わした。中東でのイギリスの勢力維持のためになされたこの約束は、⑤その後の中東における紛争の原因となった。

第一次世界大戦後、イスラーム諸国では、民族自決にもとづくナショナリズム運動が展開された。1914年以来イギリスの保護国となっていたエジプトでは、戦後（f）党を中心に独立運動が展開され、1922年イギリスが保護権を放棄したのにもないエジプト王国が成立した。しかし、イギリスは依然として（g）運河の支配を保ち、さまざまな特権を留保したので、これに対するエジプト人の抗議が続いた。

アラビア半島では、戦後、イギリスの影響力が増大した。ワッハーブ王国の再興をめざす（h）は、イギリスの援助を得て独立し、さらに⑥アラビア半島の統一をめざした。

- (4) 下線部④について、1917年には、パレスチナにユダヤ人の民族的郷土建設を支持する宣言がイギリス外相により発表された。この宣言名を書け。
- (5) 下線部⑤について、第二次世界大戦後、第一次中東戦争に至る経緯を、以下の資料の内容に触れながら、説明せよ。（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）

資料 国連総会決議181号（Ⅱ）パレスチナ分割勧告（1947年11月29日）

（歴史学研究会編「世界史史料11」岩波書店）

- (6) 下線部⑥について、この結果1932年に建設された王国名を書け。

- 4 次の文章A～Cを読み、文中の空欄（a）～（i）に適切な語句を入れなさい。また、後の(1)～(12)の問いに答えなさい。

A カルパティア山脈の北方を原住地とするスラヴ人は、6世紀になるとビザンツ帝国北側の広大な領域に急速に広がった。

ドニエプル川中流域に展開した東スラヴ人が住むロシアでは、9世紀にノルマン人が（a）国、ついでキエフ公国を建国したが、まもなくスラヴ化した。10世紀末、キエフ公国の（b）はビザンツ風の専制君主政をまねたので、以後ロシアは西欧とは別の文化圏に入った。13世紀にはモンゴル人が侵入し、約240年間にわたってモンゴルの支配に服したが、15世紀後半に東北ロシアを統一した①モスクワ大公の（c）のとき、ロシアはモンゴルの支配から脱した。

一方、バルカン半島に南下した②南スラヴ人の大半は、14世紀末以降、オスマン帝国の支配下におかれるようになった。

西方ラテン文化圏に入った③西スラヴ人のうち、10世紀頃建国した④ポーランドは14世紀前半にカジミェシュ大王のもとで繁栄した。

- (1) 下線部①について、モスクワ大公国で16世紀半ばから公式に用いられるようになった、ロシア皇帝を意味する称号は何か。書け。
- (2) 下線部②について、次のア～エのうち、南スラヴ人に属するものを1つ選び、記号で答えよ。  
ア クロアチア人    イ ブルガール人    ウ スロヴァキア人    エ マジャール人
- (3) 下線部③について、西スラヴのチェック人が10世紀に統一した王国名を書け。
- (4) 下線部④について、14世紀後半から18世紀後半にかけてのポーランドの歴史を簡潔に説明せよ。なお、次の語句を全て用いることとし、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

リトアニア	選挙王制	プロイセン
-------	------	-------

B 中世末期の西ヨーロッパでは⑤都市が発展し、そこから中世の文化を引き継ぎながら、人間性の自由・解放を求め、各人の個性を尊重しようとする文化運動があらわれた。これがルネサンスで、⑥トスカナ地方の都市（d）では、毛織物工業や金融業などでの繁栄を背景に、はやくも14世紀に開花した。ルネサンスは近現代につながる文化の出発という側面から理解されることが多いが、⑦中世の文化の継承・発展という面もある。

⑧16世紀になると、イタリア戦争による荒廃のため、ルネサンスの中心は他の西ヨーロッパ諸国に移った。この戦争による混乱を前にして、イタリアの（e）はその著作『君主論』で、政治を宗教・道徳から切り離す近代的な政治観を提示した。ネーデルラント地方では、（f）が『愚神礼賛』などで教会の腐敗を批判した。

(5) 下線部⑤に関して、中世ヨーロッパの都市や市民について述べた次の文のうち、誤っているものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 14世紀に北ヨーロッパ商業圏を支配したハンザ同盟は、共同で武力を用いるなどして大きな政治勢力になった。

イ ハンザ同盟はヨーロッパの主要都市に在外商館を設置しており、ロンドン、ブリュージュ、ベルゲン、ノヴゴロドにそれぞれ置かれたものが四大商館といわれる。

ウ ツンフト闘争によって商人ギルドも市政への参加を実現したが、商人ギルドの組合員になれるのは、独立した手工業経営者である親方に限られていた。

エ 都市の上層市民の中には、フィレンツェのメディチ家のように一族から教皇やフランス王妃を出す富豪もあらわれた。

(6) 下線部⑥について、トスカナ地方の方言で書かれ、地獄・煉獄・天国の3篇からなる文学作品の名称を書け。

(7) 下線部⑦について、12世紀の西ヨーロッパでは、「12世紀ルネサンス」と呼ばれる古典復興の動きがおこった。このような動きがおこった背景を、次の語句を全て用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

十字軍

ラテン語

(8) 下線部⑧に関して、資料1は16世紀のイギリスの人文主義者であるトマス＝モアの著作の一部である。彼が資料の中で批判している当時のイギリスの社会状況について、次の語句を全て用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

農地

毛織物工業

資料1

(歴史学研究会編「世界史史料5」岩波書店)

C 1649年にチャールズ1世を処刑して共和政をうちたてた(g)は、議会派内の急進派である水平派を弾圧する一方、王党派の拠点とされたスコットランドや⑨アイルランドを征服した。同時に重商主義的な政策も推進したが、1651年に制定された⑩航海法はその後三度にわたるオランダとの戦争のきっかけとなった。

(g)の死後は先王の子が国王チャールズ2世として迎えられた(王政復古)。しかしチャールズ2世は専制的な姿勢をとってカトリックを擁護しようとしたため、議会は1673年に審査法、79年には、恣意的な逮捕・投獄を禁じる(h)を制定してこれに対抗しようとした。その中で議会は立法府として活性化しはじめ、1670年代末頃には⑪今日の政党の起源となる2つの党派が誕生した。



続いて即位したジェームズ2世もカトリックと絶対王政の復活につとめたため、1688年に両党派は⑩オランダ総督夫妻を招いて対抗し、ジェームズ2世は亡命した。夫妻は翌年に議会在提出した(i)を受け入れ、ウィリアム3世・メアリ2世として、ともに王位についた。同年末に(i)は法典化され、議会主権に基づく立憲王政が確立された。

(9) 下線部⑨について、この時の征服にともなう土地の没収・収奪が、アイルランド問題の出発点となった。このアイルランド問題について述べた以下のア～エの文のうち、正しいものを1つ選び、記号で答えよ。

ア 1707年、アン女王の時にアイルランドは正式にイングランドに併合された。

イ 19世紀末から3度にわたり、グレイ内閣のもとでアイルランド自治法案が議会在提出されたが、いずれも否決され成立には至らなかった。

ウ 1914年にアイルランド自治法が成立したが、政府は第一次世界大戦の勃発を理由に、実施を延期したため、一部の独立強硬派は武装蜂起を起こした。

エ アイルランドは、1922年、北部のアルスターを除き国名をエールとして自治領となった。

(10) 下線部⑩について、航海法はなぜオランダとの戦争のきっかけとなったのか。法の内容に触れながら説明せよ。

(11) 下線部⑪について、2つの党派のうち、議会の権利を主張し、非国教徒や商工業者の立場にも配慮した党派の名称を書け。

(12) 下線部⑫について、生徒から「イギリスとオランダは英蘭戦争で戦っていたはずなのに、なぜオランダから王を迎えたのですか」と質問があった。この質問に対して次の資料2を基に解説したい。□ I □、□ II にふさわしい内容をそれぞれ書け。

資料2 (板書例)

イギリス議会在オラニエ公ウィレム夫妻を王として迎えた背景

○ 宗教面

- ・ □ I □
- ・ イギリス国王ジェームズ2世は、カトリックを擁護

○ 国際情勢

- ・ 1672年 ルイ14世によるオランダ侵略戦争勃発
- ・ □ II □

○ イギリス王室とのつながり

- ・ メアリ2世はジェームズ2世の娘
- ・ ウィリアム3世は母がステュアート家出身

- 5 次の資料A、資料Bは、「19世紀のアメリカ合衆国の発展と移民」を主題として授業を行った際に示したものの一部である。後の(1)、(2)に答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A アメリカ合衆国への移民数の推移

(清水知久著「世界の歴史15 近代のアメリカ大陸」講談社)

資料B

(歴史学研究会編「世界史史料7」岩波書店)

- (1) 資料Aを活用し、生徒にアメリカ合衆国への移民が増加した原因を多面的に考察させたい。1つは「移民の出身地域の社会的状況」に着目して考察させた場合、他にどのような側面から考察させることができるか、2つ書け。
- (2) あなたであれば、移民の増加により生じた問題点について、どのようなことを理解させたいか。資料Bを用いて、具体的に記述せよ。
- 6 現在のフランスにあるアルザス・ロレーヌ地域は、古くから周辺国による係争の対象となってきた。しかし第二次世界大戦終結後は、その中心地であるストラスブールに象徴されるように、ヨーロッパ諸国にとって戦前とは対照的な意味合いを持つ地域に変容している。
- 以上のことをふまえ、17世紀後半から現在までのアルザス・ロレーヌ地域の歴史について、次の語句を全て用いて300字以内で記述せよ。なお、それぞれの語句を初めて使用した箇所に下線を付すこと。算用数字は1マスに2桁まで可とし、国名は漢字略称を使用してもよい。

第一次世界大戦	ウェストファリア条約	普仏戦争	ヒトラー
---------	------------	------	------

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号		氏 名	
--------	---------	-------	----------	--	--------	--

(3年)

1

(1)	
(2)	

2

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h		i	
	j					
(1)						
(2)		(3)				
(4)	I					
	II					
(5)						
(6)						
(7)						
(8)						

3

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h			
(1)						
(2)						
(3)		(4)				
(5)						
(6)						



以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号	氏 名	(3年)
--------	---------	-------	----------	--------	------

1 【7点】

(1)	(例) 自由貿易体制を確立し世界の覇権を掌握した19世紀のイギリスは、日本を含むアジア諸国にどのような影響を与えたのか。 【2点】
(2)	(例) イギリスが、アヘン戦争に勝利し中国の5港を開港させるなど、アジア地域を原料供給地及び製品輸出先として自由貿易体制に組み込んでいったことについて理解する。 【2点】
	(例) アヘン戦争後も従来の支配体制が継続した中国とは異なり、日本では、明治維新により近代国家建設が進み、岩倉使節団派遣などにより欧米諸国の見聞を行ったことが、後の近代国家体制へつながったことについて考察し、表現する。 【3点】

2 【25点】

【各1点】

	a	ホラズム (ホラズム=シャー)	b	カラコルム	c	バトゥ
	d	大都	e	ジャムチ (站赤)	f	交鈔
	g	紅巾	h	建文帝 (恵帝)	i	ホンタイジ
	j	理藩院				
(1)	フラグは、1258年にバグダードを占領してアッバース朝を滅ぼし、イランを中心にイル=ハン国を建てた。 【2点】					
(2)	イ	【2点】	(3)	プラノ=カルピニ	【1点】	
(4)	I	(例) 細密画の発達				【1点】
	II	(例) 郭守敬、授時暦を作成				【1点】
(5)	靖難の役	【1点】			【3点】	
(6)	1449年、オイラト部のエセン=ハンが明の正統帝を土木堡で捕らえる土木の変が起こった。この頃から、明は長城を修築してモンゴルの侵入にそなえた。16世紀半ばには、タタール部のアルタン=ハンが長城を超えて北京を包囲し、明を苦しめた。					
(7)	エ	【2点】				
(8)	1924年に成立したモンゴル人民共和国は、ソ連の影響を受け社会主義および共産主義を追求するとしていたが、ソ連崩壊に伴い社会主義体制から離脱し、1992年には民主主義国家のモンゴル国が成立した。 【2点】					

3 【21点】

【各1点】

	a	サ	b	ス	c	チ
	d	ソ	e	コ	f	タ
	g	キ	h	カ		
(1)	エ	【2点】				
(2)	オーストリアは、1878年のベルリン条約で行政権を得ていたボスニア・ヘルツェゴビナを併合した。両地域はスラブ人が多く居住していたため、スラブ人地域の併合をねらっていたセルビアとの対立を深めた。 【3点】					
(3)	イラン立憲革命	【2点】	(4)	バルフォア宣言	【2点】	
(5)	戦後、イギリスの委任統治終了を機に、ユダヤ人は、国際連合により提示された分割案を受け入れて1948年にイスラエル建国を宣言したが、反発したアラブ諸国との間に第1次中東戦争が起こった。 【2点】					
(6)	サウジアラビア王国	【2点】				

以下はあくまでも解答の一例です。

科	世界史解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名	(3年)
目					

4 【33点】

【各1点】

	a	ノヴゴロド	b	ウラディミル1世	c	イヴァン3世	
	d	フィレンツェ	e	マキャヴェリ	f	エラスムス	
	g	クロムウェル	h	人身保護法	i	権利の宣言	
(1)	ツァーリ 【2点】		(2)	ア 【2点】		(3)	ベーメン(ボヘミア)王国 【1点】
(4)	ポーランドは14世紀後半にリトアニアと合体し、ヤゲウォ朝が成立した。16世紀後半にヤゲウォ朝が断絶すると、選挙王制のもとで国内の貴族間の対立がおこり、外国の干渉をまねいた。18世紀後半にはプロイセン、オーストリア、ロシアによる3度の分割により、消滅した。 【3点】						
(5)	ウ 【2点】		(6)	神曲 【2点】			
(7)	十字軍やレコンキスタをきっかけに、イスラーム世界からもたらされたギリシア古典が、ギリシア語やアラビア語からラテン語に翻訳されるようになったこと。 【2点】						
(8)	毛織物工業の発展に伴い、羊毛生産増大のために領主や地主が農民から農地を取り上げて牧場にするという第一次囲い込み(エンクロージャー)が進んでいたこと。 【2点】						
(9)	ウ 【2点】						
(10)	航海法はイギリスおよび植民地への輸入品の輸送をイギリスか原産国の船に限るとした内容であり、中継貿易で繁栄していたオランダに打撃を与える意図があったため。 【2点】						
(11)	ホイッグ党 【2点】						
(12)	I	オラニエ公夫妻はプロテスタント				【1点】	
	II	イギリスとオランダ共通の脅威である、フランスの存在				【1点】	

5 【6点】

(1)	(例) アメリカ合衆国内の政治・社会・経済面について	【2点】
	(例) 19世紀の交通手段の状況について	【2点】
(2)	(例) アジア系移民などの労働者の増加により、白人労働者との対立が生じ、1882年には中国系移民を禁じる移民法が成立するなど、移民を制限する動きも生じたことを理解させる。	【2点】

6 【8点】

アルザス地域は、1648年の三十年戦争の講和条約であるウエストファリア条約で仏領となり、その後ロレーヌ地域も仏領となった。仏が普仏戦争に敗北すると、アルザス・ロレーヌ地域はドイツ帝国領となったことから、両国の対立は深まった。独が第一次世界大戦に敗北すると、1919年に結ばれたヴェルサイユ条約により、両地域は再び仏領となった。第二次世界大戦勃発後、一時的にヒトラー率いる独軍の占領下に置かれたが、戦後仏領となった。戦後、2度の世界大戦の戦場となった反省から、地域統合により欧州の再生が図られた。この中で、ストラスブールに欧州の主要国際機関が置かれるなど、両地域は、欧州統合を象徴する地へと変容している。
---